

■ドイツ：RWE が再エネ、配電、小売事業の分社化計画を発表

ドイツの大手エネルギー会社 RWE は 2015 年 12 月 1 日、再エネ、配電、小売の 3 事業を統合する子会社を新設し、親会社は従来型発電およびエネルギー取引の 2 事業に集中する新たな事業再編計画を発表した。同計画では、新子会社は 2016 年末に上場され、約 10% の株式が売りに出される見通し。RWE は上場と同時またはその後の更なる株式売却の可能性も示唆しているが、新子会社の株式の過半数は長期にわたって保有する。テリウム社長は「このグループ再構築が欧州におけるエネルギー情勢の変化に対する我々の答えだ」とコメントした。同社の試算では、新子会社の売上高は 400 億ユーロ超、EBITDA は 40 億超となり、グループ全体の従業員約 6 万人のうち約 4 万人が新子会社に所属することとなる。同計画は 12 月 11 日に開催された監査役会で正式に承認された。